

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

November / 14 / 2014 # 20

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『ソロ曲へのチャレンジ』

[2] Pepeのひとりごと

『時間の使い方』

[3] おすすめ動画

『2014 HAMAMATSU ACADEMY BRASS ENSEMBLE FACULTY ntsc』

『Pines Of Rome - All Star Brass』

[4] 演奏のヒント！

『レガート・タンギング』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『ソロ曲へのチャレンジ』

前にも書いたことがあるかもしれませんが、みなさん、ソロの曲（ここでは吹奏楽の中でのソロのことではなく、主にピアノ伴奏で演奏するソロのことです）を演奏したことはありますか？

先日、とあるソロ・コンクールの審査員をやらせていただきました。その審査をやりながら感じたことなのですが、上手になりたいのなら、ソロの曲を演奏（練習）してみるべきだと僕は思います！

多くの方は、ソロの曲を演奏する機会はあまりないと思います。
ぜひ一度、少しの勇気を持ってソロの曲を練習してみましょう！

ソロの曲の練習すると、まず自分のことがよくわかります。
具体的に書くと、自分が何をどのように表現（演奏）できるのか、
何がどの程度できていないのかがよくわかります。

吹奏楽の中で吹いていると、自分ができていないことでも
できているかのように感じることもあるんですよね。

エチュードなどでもいいのですが、この場合はあまり基礎的な
ものではなく、技術的に少し難しいもので、かつ音楽的に演奏
しやすいものを選んでやってみてくださいね。

自分の演奏技術の現状がわかると同時に、自分の音（音色）の
こともよくわかると思いますよ。

ソロを演奏するときには、もちろんすべてを自分一人で表現
していかなければいけません。
とってもいい勉強（経験）になるので、簡単な曲からぜひ
やってみましょう！ ;)

今は、比較的吹きやすい曲がいろいろ入ったソロ曲集も
たくさん出ています。
ぜひ楽器屋さんで見てくださいね！

*人によってはかなりの勇気が必要かもしれませんが、
ソロのコンクールにチャレンジしてみるのもいいと思います。
どうせなら人に聴いてもらったほうがいいですからね！ ;)

まずは、小さくてもいいので第一歩を踏み出していきましょう～！

[2] Pepeのひとりごと

『時間の使い方』

ここ数週間、なんとか時間を作ってちゃんと毎日自分の
練習時間を確保しています。

・・・とは言ってもほとんど家の中での練習なので、練習用の
サイレンサー・ミュートを付けての練習なのですがね（笑）。

僕は昔から練習が大好きで、今も常にやりたい練習が頭の中にたっくさんあるので、とっても充実しています。 :)

でも、この世の中はみんな平等に1日は24時間と決まっています。練習時間が増えると充実はするのですが、その分もちろん他の時間が削られていきます。

そのバランスの取り方がまだまだぎこちなくて、毎日工夫&苦勞をしています（笑）。

寝る時間を削ると仕事の質が落ちてしまうので、他の仕事の進め方を工夫したりしています。

ああ、もっと器用に、かつ賢くなりたいと思う今日このごろです。

[3] おすすめ動画

『2014 HAMAMATSU ACADEMY BRASS ENSEMBLE FACULTY ntsc』
<https://www.youtube.com/watch?v=kYAxnc7kL9o&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

今月の動画は、ブラス・アンサンブルの動画を紹介しますね。まず一つ目は、今年（2014年）浜松であったアカデミーの講師たちによるコンサートからの映像です。

メンバーがすごく豪華で、聴き応えありますよ！アンサンブル・コンテストに出場する人も多くいると思いますが、自分の演奏する曲以外の演奏もたっくさん聴いているいと吸収しましょう～！！ ;)

『Pines Of Rome - All Star Brass』
<https://www.youtube.com/watch?v=PERd2BXDP4I&index=6&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

2つ目の動画も、各国の名手が集まったブラス・アンサンブルです。 :Dなんと、レスピーギ作曲の「ローマの松」を演奏しています！！僕の大好きなプレイヤーの1人、TromboneのAlain Trudel氏が持ち替えてEuphoniumを吹いているのにも注目！！ ;)

こんなチャレンジ、僕もやってみたいなあ～！誰か、一緒にやりませんか?? ;)

[4] 演奏のヒント！

『レガート・タンギング』

今月は、レガート・タンギングについて。

アンサンブルの演奏機会が増えるこの時期、音色や発音（アタック）、タンギングの種類が少ないために音楽表現がかなり制限されてしまうことがあります。

そうならないように、しっかりとそれらの練習をしていきましょう。

金管楽器は、比較的レガート・タンギングをきれいにすることが簡単ではありません（あえて「難しい」という言葉は使いません）。強めのアタックで吹くことはそんなに難しいことではないので、この強めのアタックとレガートの差を大きくつけることができると音楽表現の幅はかなり広がりますよ。

レガート・タンギングで演奏するときには、シラブル（楽器を演奏する際に口の中で発音している言葉のこと）を「ラ行」に統一してみましょう。

厳密にいうと、「Ra」ではなく「La」です。

日本語ではこの2つの発音に差はありませんが、アルファベットを使う言語では、この2つは大きく異なってきます。

簡単に言うと、「R」のほうが柔らかめ（あいまい？）になります。

あいまいなタンギングになると音程の動きなどが伝わりにくくなるので、楽器演奏の場合は多くの場合「L」で発音するように心がけてみてくださいね！

音の立ち上がりが明確なレガートが演奏できるようになりますよ。 ;)

* 「ハ行」で演奏する方法もありますが、ハ行だと発音があいまいになりやすかったりのに力が入ってしまうことがあるので、僕はおすすめしません。

もちろん、音域によって「Li」（主に高音域）、「Lu」（主に中音域）「Lo」（主に低音域）と自由に使い分けてみてくださいね！！

編集後記

メールマガジンを書き始めて、自分が想像していたよりもすぐに1年経ったのですが、月日はあっという間に流れ、もう今号が20号になります。

歳を重ねていくほどに時間が短く感じられるようになっていますが、これから先ももっと速くなっていくのでしょうかねえ。

時間は常に限られているので、たくさんあるやりたいことの中から本当にやりたいものを厳選して生きていこうと改めて思いました。

コツコツと進めている新しい曲のアレンジ作業も、出来上がりつつあります！ :)

それと、ずっとやっているKoppraschのエチュードの演奏動画を撮っていくプロジェクトも、残りあと5つになりました～！！今年中になんとか終わらせたくて、最近また頑張っています！

まだ見たことのない人は、僕のYouTubeアカウント「pepeabe」をぜひ登録してみてくださいね！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com